六月のヤング川柳のをします。六年生の江口しおんさんが、にしました。すばらしいですね。します。

「試合負け　ぼくの心も　っぽだ」

のおは「っぽ」でした。しおんさんは、「っぽ」というからで負けた時のことを思い出したんですね。かに、っているので、にけるとしい思いになります。でも、そのしさが、次のるにもなりますよね。